

# アクションプログラム2023

## 和歌山県農水産物・加工食品の 販売促進戦略



おいしい! 健康わかやま 



和歌山県農林水産部 食品流通課



# 和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略

## ◆ アクションプログラム2023 取組方針

1. コロナ後の海外マーケットへの販路開拓の強化
2. リアル回帰に対応した商談機会の創出やデジタルによる販路の拡大
3. 2025大阪・関西万博開催に向けた県産品のプロモーション
4. 生産者や事業者の商品力・販売力の向上支援

## アクションプログラム2023 目次

### I. 海外市場の販路開拓強化

1. 海外見本市出展等による商談機会の充実・・・・・・・・・・ P 1
2. 海外における和歌山プロモーション・・・・・・・・・・ P 3
3. 輸出拡大に向けた環境整備・・・・・・・・・・ P 5
4. 輸出拡大に向けた魅力の発信・・・・・・・・・・ P 7

### II. 国内市場の販売促進強化

1. 大型展示商談会への出展・・・・・・・・・・ P 8
2. 食品卸・商社等主催商談会への出展・・・・・・・・・・ P 9
3. 県主催産品商談会の開催・・・・・・・・・・ P 10
4. 大阪・関西万博に向けたプロモーション・・・・・・・・・・ P 11
5. 「おいしく食べて和歌山モール」の活用・・・・・・・・・・ P 13
6. 県産品ブランディングセールス・・・・・・・・・・ P 14
7. 有名百貨店、通販市場での販売促進・・・・・・・・・・ P 16
8. わかやま紀州館を活用した販路開拓・・・・・・・・・・ P 18
9. プレミア和歌山のストーリー展開・・・・・・・・・・ P 19
10. 大手食品企業とのタイアップによる商品開発・・・・・・・・・・ P 20
11. 県産酒類の魅力発信・・・・・・・・・・ P 21
12. 「おいしい！健康わかやま」の推進・・・・・・・・・・ P 22

### III. 生産者・事業者への支援

1. デジタル社会に対応した生産者・事業者支援・・・・・・・・・・ P 23
2. 商品力・販売力の向上・・・・・・・・・・ P 24
3. 食品関係産業の振興・・・・・・・・・・ P 25

- =====
- ※ 主要事業実績及び計画一覧・・・・・・・・・・ P 26

## 2023 主な施策

### I. 海外市場の販路開拓強化

### II. 国内市場の販売促進強化

#### 多様な 商談機会 の提供

- 海外展示商談会への出展
  - ・ THAIFEX 2023
  - ・ FOODTAIPEI 2023
  - ・ 香港フードエキスポ2023
  - ・ FHC2023 (上海)
- 国内での商談機会の提供
  - ・ 国内輸出商社との商談会
  - ・ 海外バイヤーとのWeb商談会
  - ・ JETRO「JAPAN STREET」「JAPAN MALL」事業の活用

#### 戦略的 マーケ ティング

- 海外における和歌山プロモーション
  - ・ GI和歌山梅酒プロモーション推進 (フランス)
  - ・ ベトナムプロモーションの強化
  - ・ PPIHとの和歌山フェアの拡大(米国等)
  - ・ 高級スーパーや百貨店での店頭販促等
- 輸出拡大に向けた環境整備
  - ・ 食品輸出セミナー(JETRO、関西広域連合)
  - ・ グローバル産地づくりの推進
  - ・ 輸出向けHACCP等対応施設整備支援
  - ・ 農産物の生産体制等の強化支援

#### 魅力の 発信

- 輸出拡大に向けた魅力の発信
  - ・ 県産果実PRサイト(中国語)等の活用
  - ・ 高級日本食レストランでのフェア開催
  - ・ 4大果実(梅・桃・柿・みかん)PR動画(中国語・英語版)の活用

- 大型展示商談会への出展
  - ・ フードストアソリューションズフェア
  - ・ スーパーマーケット・トレードショー
  - ・ FOODEX JAPAN
- 食品卸・商社等主催商談会への出展
  - ・ 三井食品、国分等大手卸商談会
  - ・ 通販食品展示商談会、フードスタイル九州
- 県主催産品商談会の開催
  - ・ 県産品マッチング商談会
  - ・ わかやま産品商談会in大阪・和歌山
- 個別商談機会提供、Web商談活用

- 大阪・関西万博に向けたプロモーション
  - ・ わかやま産品商談会in大阪
  - ・ ご当地グルメ対決「わかやま食ツリズム」
  - ・ 大阪外食産業協会と連携した食材提案
- おいしく食べて和歌山モールの活用
- 県産品ブランディングセールス
  - ・ 老舗果物専門店等とのコラボ
  - ・ 県産食材の機能性、テロワール
- 有名百貨店、通販市場での販売促進
- わかやま紀州館を活用した販路開拓
- プレミア和歌山のストーリー展開

- 大手食品企業とのタイアップ
- 県産酒類の魅力発信
  - ・ マッピング図(日本酒・梅酒)の活用
- おいしい!健康わかやまの推進
  - ・ イスタグラム等を活用した県産品の魅力発信

### III. 生産者・事業者への支援

#### 市場が 求める 商品 づくり

- デジタル社会に対応した生産者・事業者支援
  - ・ 「おいしく食べて和歌山モール」(消費者向け)
  - ・ 「おいしく食べて和歌山モール-FOR BUSINESS-」(バイヤー向け)
  - ・ eコマース導入に向けた支援
  - ・ Web用販売促進ツール等作成への補助
  - ・ デジタルマーケティング総合支援 **= NEW =**
- 商品力・販売力の向上
  - ・ 売れる商品の開発・改良等に向けたアドバイザー派遣
  - ・ 販売スキル向上セミナーの開催
  - ・ HACCP高度化推進講習の開催

# 1. 海外見本市出展等による商談機会の充実

県内事業者が、国内外で輸出の商談ができる機会を提供します。

(主な取組)

## ○ 海外展示商談会への出展

- ・ THAIFEX 2023  
【開催期間】 5月23日 (火) ~27日 (土)  
【開催場所】 IMPACT Muang Thong Thani (タイ)
- ・ FOODTAIPEI2023 -台北国際食品見本市-  
【開催期間】 6月14日 (水) ~17日 (土)  
【開催場所】 Taipei Nangang Exhibition Center(台北)
- ・ 香港フードエキスポ2023  
【開催期間】 8月17日 (木) ~21日 (月)  
【開催場所】 Hong Kong Convention and Exhibition Centre
- ・ FHC2023 (Food & Hospitality China)  
【開催期間】 11月8日 (日) ~10日 (金)  
【開催場所】 上海新国際博覧中心 (上海)



第5回中国国際輸入博覧会

## '22実績

- ・ 第5回中国国際輸入博覧会 (Web商談)  
【開催期間】 2022. 11. 5~11. 10 【県内事業者】 4社
- ・ Wine Paris & Vinexpo Paris 2022 (Web商談)  
【開催期間】 2022. 2. 14~2. 16 【県内事業者】 6社
- ・ 沖縄大交易会への出展支援



Wine Paris  
& Vinexpo Paris 2022

## ○ 国内輸出商社との商談会

- ・ 輸出に携わる国内商社を招へいし、事前マッチング形式の個別商談会を2回開催  
【開催時期】 5月24日 (水) ~25日 (木) ・ 10月頃 【開催場所】 和歌山県内
- ・ Webを活用した国内商社との個別商談を随時実施



## '22実績

- 【開催日】 2022. 9. 27~9. 29 【参加者】 輸出商社2社、県内事業者16社

## ○ 海外バイヤーとのWeb商談会

- ・ 「和歌山フェア」開催のためのWeb商談会  
台湾6月頃、シンガポール8月頃、米国11月頃
- ・ 中国飲食店向け和歌山県産酒類試飲商談会  
中国国内複数都市において現地飲食店関連バイヤー、  
メディア等を招待し、本県産酒類の試飲・商談を実施



和歌山フェアに向けたWeb商談

'22実績

- 香港・シンガポール「和歌山フェア」に向けた商談（2022. 8. 8～8. 9）
- 米国・カリフォルニア/ハワイ「和歌山フェア」開催のための商談（2022. 11. 9～11. 10）
- ベトナム向け温州みかん輸出に向けた商談（2022. 7. 28、8. 18、11. 24）
- 和歌山県酒類試飲商談会in中国（北京・武漢・成都）（2023. 3. 3、3. 7、3. 17）
- Web商談等実施合計数 2 1 2 件



和歌山県酒類試飲商談会の様子（北京会場）



ベトナム向け温州みかん輸出商談会の様子

○デジタルを活用した海外展開支援

・「JAPAN STREET」事業の活用

ジェットロが設定する基準を満たす海外の有力バイヤーのみが閲覧可能なオンラインマッチングサイト「JAPAN STREET」の活用を促進し、県内事業者と海外バイヤーとの商談機会を創出



JAPAN STREET

・「JAPAN MALL」事業の活用

世界各国におけるEC市場の急速な拡大を踏まえ、海外の主要ECサイトを通じた日本商品の輸出拡大を目的にジェットロが展開する「JAPAN MALL事業」の活用を促進

【対象国・地域】中国、東南アジア、中東、北米、中南米、欧州など



JAPAN MALL

'22実績

- JAPAN STREET事業 【県内参加事業者】 6 0 社（うち食品事業者 4 1 社）
- JAPAN MALL事業 【県内参加事業者】 4 2 社（うち食品事業者 2 6 社）

○MOU締結を活用した商談機会等の創出

※MOU: 行政機関等の組織間の合意事項を記した文書

- ・香港貿易発展局（2013.7.5締結）
- ・ベトナム農業農村開発省（2015.3.11締結）、商工省（2018.10.8締結）
- ・タイ王国商務省（2019.5.28締結）

○Web用商談ツールの活用

ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」内に外国語版県産品ページを作成し、輸出に取り組む意欲のある県内事業者の商品を海外バイヤー、国内輸出商社等に提案



和歌山の安全・安心な農産物や加工品を仕入れませんか？  
バイヤーと県内事業者をマッチング。  
かんたんに商談が始められる仕組みです。

バイヤー向けページ

- 【掲載言語】英語・中国語・日本語
- 【登録バイヤー数】115社（2023年3月末時点）

## 2.海外における和歌山プロモーション

海外において、魅力ある県産品の認知度向上及び輸出拡大を目指し、果実・加工食品フェアやレストランフェアの開催、関係機関と連携した食品輸出ミッションなど各種プロモーションを実施します。

(主な取組)

### ○G I 和歌山梅酒プロモーションの推進

県産梅酒が酒類の地理的表示（G I）の指定（2020.9.7）を受けたことを契機に、G I 和歌山梅酒管理委員会とともに、日・EU経済連携協定により和歌山梅酒が保護対象にあるフランスでのブランド化を推進

#### <和歌山梅酒ブランド化推進事業 in フランス>

- ・アンバサダーによるSNS等を活用した和歌山梅酒の情報発信
- ・インポーター及び営業スタッフへの講習及び営業支援
- ・現地酒販店等における和歌山梅酒販売キャンペーンの実施
- ・和歌山梅酒と現地食材とのペアリングのイベントの開催や情報発信



認証ロゴマーク



カクテルレシピ動画



ペアリング動画

R4プロモーション

### ○ベトナム向け温州みかん販売促進プロモーションの強化

JAグループ及びJETROと連携し、日本産温州みかんの更なる輸出拡大に向けて販売促進活動を行うとともに、ベトナム消費者に対する日本産温州みかんの認知度アップに向け、他府県(福岡県、佐賀県)及び輸出プラットフォーム（JETRO現地事務所）と連携し、消費者向けPR活動を実施

【時期】12月頃 【場所】ベトナムホーチミン市 小売店、飲食店

【内容】販売促進活動、マスコミ向けレストランイベント など



'22実績

#### ○G I 和歌山梅酒プロモーション

- ・アンバサダーによるSNSを活用した和歌山梅酒の情報発信
- ・ECサイトと連携した和歌山梅酒セミナーを開催（2022.12.8）
- ・バーテンダーによる和歌山梅酒のカクテルレシピを開発
- ・和歌山の食と和歌山梅酒のペアリング動画を制作
- ・現地酒販店等における和歌山梅酒販売キャンペーンを実施（2022.11.23～12.7）

#### ○ベトナム向け温州みかん販売促進プロモーション

- ・ベトナムホーチミンの高級輸入食品店「アンナムグルメマーケット」等で販売促進活動を実施（2022.12～2023.1）

○PPIHとの連携協定を活用した「和歌山フェア」の拡大

2021年3月に株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（PPIH）との間で、県産品の輸出拡大に向けた連携協定を締結したことを受け、同社が運営するアジアや米国などの海外店舗で、加工食品や青果のフェアを開催し、県産品のPRと販路拡大を目指す

＜和歌山フェア in カリフォルニア/ ハワイ＞

【開催時期】 4月～6月頃

- ・名 称：和歌山フェア in カリフォルニア / ハワイ
- ・内 容：PPIHグループである米国カリフォルニアのマルカイコーポレーション運営店舗（6店舗）、及びハワイのドンキUSA運営店舗（4店舗）において加工品を中心とする和歌山フェアを開催



和歌山フェア in 香港DON DON DONKI



米国ロサンゼルス 和歌山フェア

'22実績

- 香港DON DON DONKIで梅と梅酒のPRフェアを開催（2022. 6-2022. 7）
- 米国ロサンゼルスの食品スーパー「Tokyo Central」及び「Marukai」の計6店舗で加工品を中心とした和歌山フェアを開催（2022. 5. 19-6. 15）
- 米国ロサンゼルスの食品スーパー「Tokyo Central」及び「Marukai」で柿の販売プロモーションを実施（2022. 11）
- 和歌山フェア（カリフォルニア・ハワイ）に向けた商談会（県内27事業者参加）（2022. 11）
- 香港DON DON DONKI全9店舗で和歌山フェアを開催（2022. 12. 9～2023. 1. 1）
- シンガポールDON DON DONKI15店舗で和歌山フェアを初開催（2022. 12. 9～2023. 1. 1）
- 香港、シンガポール、台湾のDON DON DONKIで県産温州みかんの販売（2022. 12～）

○高級スーパーや百貨店での店頭販促等の実施

＜果実フェア＞

- ・もも 香港7月
- ・かき 香港10月頃
- ・みかん 香港11月頃、ベトナム12月、1月頃
- ・いちご 香港（まりひめ）2月頃

＜加工食品を中心とした和歌山フェア＞

- ・台湾 12月頃



ベトナムでのみかんフェア

'22実績

○和歌山フェアの開催

- 〔加工食品〕台湾：店頭販促（2022. 7、2022. 12） 〔梅酒〕台湾：店頭販促（2023. 2）
- 〔もも〕香港：フードエキスポ 店頭販促（2022. 8）
- 〔かき〕香港：店頭販促（2022. 11）
- 〔みかん〕ベトナム：店頭販促（2022. 12～2023. 1）、香港：店頭販促（2022. 12）
- 〔いちご（まりひめ）〕香港：店頭販促（2023. 2）

### 3.輸出拡大に向けた環境整備

国の輸出重点品目に「かき・かき加工品」が追加されたことを後押しとしながら、国が輸出促進政策として実施する施設整備や販路開拓の支援策を活用するとともに、国の輸出戦略等に産地の意見を反映。また関連して、日本貿易振興機構(JETRO)との連携をさらに図るなど、幅広く輸出拡大に向けた環境整備を図ります。

(主な取組)

#### ○食品輸出セミナー等の開催

- JETRO等との共催によるセミナーの開催  
【開催時期】 5月頃～(年間5回程度)  
【開催場所】 和歌山県内
- JETRO等との共催による相談会の開催  
【開催時期】 5月頃～(年間2回程度)  
【開催場所】 和歌山県内
- 関西広域連合「食品輸出セミナー」の開催  
【開催時期】 1～2月頃      【開催場所】 未定



東牟婁出張相談会in那智勝浦町の様子

#### '22実績

- JETRO和歌山、(公財)わかやま産業振興財団等と共催でセミナーを開催  
「貿易実務講座・入門編」(2022.8.9 リアル・Web開催)  
「海外マーケティングセミナー ―海外輸出ウェブ商談会成功率アップのために―」  
(2022.8.10 Web開催)  
「貿易実務講座・実践編」(2022.9.21 リアル・Web開催)
- JETRO和歌山、(公財)わかやま産業振興財団等と共催で相談会を開催  
東牟婁出張相談会in那智勝浦町(2022.6.30 リアル・Web開催)  
西牟婁出張相談会in田辺市(2023.3.16 リアル・Web開催)
- 関西広域連合「食品輸出セミナー」(2023.1.13 Web開催)

#### ○グローバル産地づくりの推進

- 輸出先国のニーズや規制等に対応したグローバル産地の形成を進めるため、農林水産省の輸出促進法に基づく輸出事業計画策定などの取組を支援

#### '22実績

- 輸出事業計画認定件数 5件
- GFPグローバル産地づくり推進事業採択産地 1件

#### ○輸出向けHACCP等対応施設整備の支援

- 輸出先国の規制に対応した製品製造やHACCP等の認証取得に必要な規格を満たす食品製造事業者等の施設の新設・改修及び機器の整備を支援(国庫補助事業)



デパレタイズシステム



充填ライン



殺菌装置

#### '22実績

- 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業採択 1件

### ○農産物の生産体制等の強化支援（県関係課室・研究機関等が連携）

- ・輸出向け農産物を確保・増産するため、輸出園地や輸出専用施設の整備等を支援
- ・民間企業や県試験研究機関等と連携し、長期輸送を可能とする鮮度保持技術の確立に向けた研究を推進
- ・海外の残留農薬基準に対応した病害虫防除暦例を策定



輸出専用施設の整備（もも選果ラインの検疫対応）

輸出柿の鮮度保持技術確立のための輸送試験

#### '22実績

- ・農林水産業競争力アップ技術開発 研究テーマ（令和2～4年度実施）  
 〈かき・もも研究所〉かきの輸出および簡易貯蔵を可能とする鮮度保持技術の開発  
 〈うめ研究所〉海外向けうめ果実の流通技術の開発
- ・民間企業とのかき輸出における鮮度保持技術の研究・試験を実施

### ○輸出用ロゴマークの活用及び商標監視

- ・和歌山ブランドの海外での認知度向上を目指し、輸出用ロゴマークを制定  
 海外プロモーションでの活用のため、中国、香港、台湾、マレーシア、シンガポール、タイで商標登録
- ・「和歌山」「紀州」の不正な商標出願・登録を監視  
 監視対象地域：中国・香港・台湾



#### '22実績

- ・監視による検出数（類似含む） 490件

### ○輸出証明書の発行

- ・台湾向け輸出に関して県内で生産・加工されたことを証明する原産地証明書の発行
- ・タイ向け輸出青果物の選果・梱包施設に係る衛生管理の認証・証明書の発行



タイ向け輸出青果物の選果・こん包施設衛生証明書発行のための現地調査の様子

#### '22実績

- ・原産地証明書の発行 台湾向け 13件
- ・タイ向け輸出青果物の選果・梱包施設の認証・更新 5件

### ○インポートトレランス申請の促進

輸出先国で残留基準が設定されていない農薬は使用できないため、輸出先国において基準値を設定するために必要な申請を促進

## 4.輸出拡大に向けた魅力の発信

県産果実・加工食品の魅力を、様々なチャンネル・言語を使って海外へ積極的に発信します。  
(主な取組)

### ○県産果実PRポスター（中国語）等の活用

- ・県産果実と本県観光資源をPRする中国語版ポスター等の販促資材を活用し、フェアなどの場で本県の魅力をPR



### ○県産果実PRサイト（中国語）等の活用

- ・県産果実を紹介する中華圏向けのPRサイトやを活用し、海外でも本県産の魅力をPR



果実PRサイトページ及びQRコード

### ○海外高級飲食店での県産食材を使用した「和歌山レストランフェア」の開催

- ・マカオの高級日本食料理店  
【開催時期】 11月頃



### ○4大果実（梅・桃・柿・みかん）PR動画（中国語・英語版）の活用



中国語



英語



中国語



英語



中国語



英語



中国語



英語

# 1.大型展示商談会への出展

新たな販路開拓や販路の拡大を支援するため、国内外の食品関係事業者やバイヤーが集結する大型展示商談会へ「おいしい！健康わかやま」をコンセプトとしたブースを出展します。

(主な取組)

- 第6回フードストアソリューションズフェア2023 = NEW =  
西日本を代表する大手小売企業が副主催（運営委員）を務める注目度の高い展示会  
【開催期間】9月6日（水）～7日（木）  
【開催場所】インテックス大阪  
【募集者数】13事業者（募集終了）



開催案内チラシ

'22実績

- 【開催期間】2022.9.7～9.8      【開催場所】インテックス大阪  
【来場者数】14,015人

- 第58回 スーパーマーケット・トレードショー2024  
スーパーマーケットを中心とする流通業界に最新情報を発信する商談展示会  
【開催期間】2月14日（水）～16日（金）  
【開催場所】幕張メッセ  
【募集者数】20事業者（予定）  
【募集時期】6月頃



スーパーマーケット・トレードショー2023

'22実績

- 【開催期間】2023.2.15～2.17      【開催場所】幕張メッセ  
【来場者数】62,525人      【出展者数】25事業者

- 第49回 FOOD EX JAPAN 2024  
国内外の食品関係事業者やバイヤー等が参加するアジア最大級の国際食品・飲料専門展示商談会  
【開催期間】3月5日（火）～8日（金）  
【開催場所】東京ビッグサイト  
【募集者数】16事業者（予定）  
【募集時期】6月頃



FOODEX JAPAN 2023

'22実績

- 【開催期間】2023.3.7～3.10      【開催場所】東京ビッグサイト  
【来場者数】73,789人      【出展者数】18事業者

※和歌山県が出展するブースの中で、出展事業者の方々に商品等を展示していただきますので、個別に出展する場合に比べて展示面積はやや狭くなりますが、相乗効果による来場者の増加が期待されます。また、和歌山県が装飾等の費用を負担しますので、出展事業者の方々は経費を抑えて出展することができます。

## 2.食品卸・商社等主催商談会への出展



プレミアム和歌山など特色ある県産品の販路開拓に向け、大手食品卸・商社等が主催する展示商談会や通販食品展示商談会等へ出展します。（※プレミアム和歌山認定事業者を対象）

（主な取組）

### ○三井食品フードショー2023

全国の三井食品株式会社の客先企業等に対し、試食・試飲等を行い、プレミアム和歌山等の商品をPR

【開催期間】7月12日（水）～13日（木）【開催場所】東京ビックサイト

【募集者数】5事業者（予定）【募集時期】～4月24日（月）



三井食品フードショー2022

'22実績

【開催期間】2022.7.14～15【開催場所】パシフィコ横浜【出展者数】5事業者

### ○伊藤忠食品展示会

関西圏中心の伊藤忠食品株式会社の客先企業等に対し、試食・試飲等を行い、プレミアム和歌山等の商品をPR

【開催期間】7月27日（木）～28日（金）【開催場所】インテックス大阪

【募集者数】5事業者（募集終了）

### ○国分西日本展示商談会

関西圏中心の国分西日本株式会社の客先企業等に対し、試食・試飲等を行い、プレミアム和歌山等の商品をPR

【開催期間】2月頃の1日間【開催場所】帝国ホテル大阪

【募集者数】4事業者（予定）【募集時期】11月頃



国分西日本展示商談会

'22実績

【開催期間】2022.7.5【開催場所】帝国ホテル大阪【出展者数】5事業者

### ○三井食品関西メニュー提案会

関西圏中心の三井食品株式会社の客先企業等に対し、試食・試飲等を行い、プレミアム和歌山等の商品をPR

【開催期間】2月頃の1日間【開催場所】大阪マーチャンドイズマート

【募集者数】4事業者（予定）【募集時期】12月頃



三井食品関西メニュー提案会

'22実績

【開催期間】2022.4.26【開催場所】大阪マーチャンドイズマート【出展者数】5事業者

### ○第13回通販食品展示商談会

通販・宅配食品業に特化した、日本で唯一の展示商談会

【開催期間】10月24日（火）～25日（水）【開催場所】東京交通会館12階

【募集者数】10事業者（予定）【募集時期】5月頃



第12回通販食品展示商談会

'22実績

【開催期間】2022.11.1～2【開催場所】東京交通会館12階【出展者数】10事業者

### ○フードスタイル九州2023

九州の小売・中食・外食業界に向けて販路拡大をする為の九州最大級の商談展示会

【開催期間】11月14日（火）～15日（水）【開催場所】マリンメッセ福岡

【募集者数】10事業者（予定）【募集時期】6月頃



フードスタイル九州2022

'22実績

【開催期間】2022.11.9～10【開催場所】マリンメッセ福岡

【出展者数】10事業者

### 3. 県主催産品商談会の開催

食品バイヤーを本県に招へいし商談するとともに、首都圏で開催される大型展示商談会へのステップとしても参加が可能な県主催の商談会を和歌山や大阪で開催します。

(主な取組)

#### ○県産品マッチング商談会の開催

招へいする食品卸、小売等のバイヤーが求める商品と県内事業者の求める売り先を事前にヒアリングしたマッチング形式の商談会を開催するとともに、事業者の製造現場等へ案内

【開催時期】第1回：5月24日（水）～25日（木）

第2回：10月頃

【開催場所】白浜町、和歌山市

【参加バイヤー】食品卸、小売(百貨店、スーパー等)、通販、  
外食バイヤー等 10～15名程度

【募集者数】30社（予定）

【募集時期】第2回：6月頃



商談会



現地視察

'22実績

【開催日】2022. 9. 27～9. 28 【開催場所】和歌山県民文化会館

【参加バイヤー】卸、小売、通販、輸出 13社16バイヤー

【参加者数・商談数】県内事業者37社、136商談

#### ○わかやま産品商談会 in 和歌山

農水産物や新しく開発した加工食品の紹介など、主として県内での販路拡大や地産地消の推進を目的に開催

【開催時期】11月22日

【開催場所】ホテルアバローム紀の国

【募集時期】4月中旬～5月初旬頃



わかやま産品商談会in和歌山

'22実績

【開催日】2022. 11. 24 【開催場所】ホテルアバローム紀の国

【来場者数】227人 【出展者数】74社（団体）（うち新規事業者24社）

#### ○わかやま産品商談会 in 大阪

新規出展者や新商品の掘り起こしを行い、関西の食品バイヤー等に「わかやま産品」の魅力を紹介し、県内事業者の関西での販路開拓を支援

【開催時期】1月19日（金）

【開催場所】大阪マーチャンダイズ・マート

【来場企業】卸売・流通業、小売業、外食業、  
食品メーカー等約600人

【出展者数】60社（予定）

【募集時期】7月頃



個別商談会



わかやま産品商談会in大阪

'22実績

【開催日】2023. 1. 20 【開催場所】大阪マーチャンダイズ・マート

【来場者数】551人 【出展者数】74社（団体）（うち新規事業者8社）

## 4.大阪・関西万博に向けたプロモーション

2025年に開催される「大阪・関西万博」を契機として訪れる多くの方々に向けて、和歌山県産品の魅力を発信するとともに販路拡大につなげていくため、大阪をはじめとする関西圏を軸に活躍するバイヤー等への働きかけを強化していきます。

(主な取組)

### ○フードストアソリューションズフェア2023 [再掲]

大阪で開催される秋の大規模展示商談会に和歌山県ブースが初出展！！

【開催時期】9月6日～7日 【開催場所】インテックス大阪

【出展者数】13社（募集終了）

【参考情報】昨年来場者数：14,015人



### ○わかやま産品商談会 in 大阪 [再掲]

大阪外食産業協会をはじめとする関係団体による協力のもと、  
関西圏を軸に活躍するバイヤーへのプロモーションを強化！！

【開催時期】1月19日（金）

【開催場所】大阪マーチャントダイズ・マート

【来場企業】卸売・流通業、小売業、外食業等 約600人

【出展者数】60社（予定）

【募集時期】7月頃



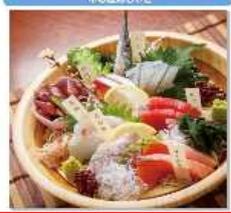
県産食材の魅力を地域から発信するため、「わかやまポンチ」「紀州梅バーガー」「わかやま産品応援店」「わかやまジビエ」「わかやまスムージー」の取組を展開します。

(主な取組)

### ○ご当地グルメ紹介Webサイト「わかやま食ツーリズム」による魅力発信

- ・「わかやまポンチ」「紀州梅バーガー」「わかやま産品応援店」「わかやまジビエ」を紹介し登録店舗情報を発信。
- ・大阪・関西万博開催を見据え、外国人の誘客を目的に県産品取り扱い店をPR

#### お店の情報を多言語で発信

 <p>和歌山県産の新鮮な食材を使用した「わかやまポンチ」は、和歌山県産品の魅力を伝えるための取り組みです。和歌山県産品の魅力を伝えるための取り組みです。</p>	<p>We source fresh seafood from the market in Wakayama. The atmosphere of our restaurant is very elegant, calm and comfortable.</p> <p>Dai-ichi Seimei Bldg. 1F, 2-14-6 Ota, Wakayama City &gt; <a href="#">map</a></p> <p>5 min. walk from East Exit of JR Wakayama Sta.</p> <p>+81-73-473-2220</p> <p><a href="http://www.chushinya.jp/ashagi/">http://www.chushinya.jp/ashagi/</a></p> <p>Parking lot available</p> <p>Open every day 17:00 - 0:00 midnight (order stop at 23:00. Enter by 22:00.) Lunch is by reservation only.</p>	<p>我們每天從和歌山市場採購新鮮的海產品。餐廳的氣氛非常優雅、平靜和舒適。</p> <p>和歌山市太田2-14-6 第一生命大樓1F &gt; <a href="#">地圖</a></p> <p>從JR和歌山站東口步行5分鐘。</p> <p>+81-73-473-2220</p> <p><a href="http://www.chushinya.jp/ashagi/">http://www.chushinya.jp/ashagi/</a></p> <p>有停車位</p> <p>每天17:00-午夜0:00營業 (23:00停止點餐, 22:00前進入。) 午餐只接受預訂。</p>	<p>我們每天從和歌山市場採購新鮮的海產品。餐廳的氣氛非常優雅、平靜和舒適。</p> <p>和歌山市太田2-14-6 第一生命大樓1F &gt; <a href="#">地圖</a></p> <p>從JR和歌山站東口步行5分鐘。</p> <p>+81-73-473-2220</p> <p><a href="http://www.chushinya.jp/ashagi/">http://www.chushinya.jp/ashagi/</a></p> <p>有停車位</p> <p>每天17:00-午夜0:00營業 (23:00停止點餐, 22:00前進入。) 午餐只接受預訂。</p>
--	---	--	--



【わかやまポンチ】とは

- ①和歌山県産のうめ甘露煮又はシロップ漬け等の使用
- ②和歌山県産フルーツを1つ以上使用
- ③使用しているフルーツの説明があること



【紀州梅バーガー】とは

- ①和歌山県産のうめを使用していること
- ②うめの健康イメージをアピール出来ること
- ③和歌山県産のうめであることを表示すること



【わかやま産品応援店】とは

和歌山県の豊かでおいしい食材をPRするため、県産食材を使ったメニューの提供や販売を行うお店



【わかやまジビエ】とは

和歌山県内で捕獲され、食品営業許可を得た県内施設で処理加工された野生イノシシ及びシカ肉のこと

○「ORA」との連携による大阪・関西万博開催を見据えた外食への食材提案アプローチ

- ・大阪外食産業協会（ORA）等への県産食材の提案
- ・有名ホテル、レストラン等で和歌山フェアの開催
- ・外食関係者、有名シェフの招へいによる食材の魅力発信
- ・「資生堂パーラー」等の高級外食店への食材提案



資生堂パーラー銀座本店



グランドニッコー東京 台場

○「わかやまジビエ」の販売促進と安全・安心のPR

- ・高級百貨店、食肉卸売業者、量販店での販売促進
- ・ジビエ肉質等級制度により外食業界へ積極的にPR

【わかやまジビエ肉質等級制度】とは  
県認定格付員により、認証施設で解体した肉をイノシシ  
3等級、シカ2等級に格付けする制度



スーパーでジビエ販売



ジビエソーセージ

○「わかやまスムージー」

- ・企業と連携した新商品の開発・販売
- ・県産野菜を使ったレシピ開発及びPR

【わかやまスムージー】とは  
複数の野菜・果実を使用し、かつ和歌山県産の野菜又は  
果物を1つ以上使用したスムージー



わかやまスムージー

'22 実績

【わかやま食ツーリズム】

- 「わかやまポンチ」「紀州梅バーガー」「わかやま産品応援店」「わかやまジビエ」を紹介したご当地グルメ紹介Webサイト「わかやま食ツーリズム」に掲載店舗を追加（2023.3.31）
- 掲載店舗数（2023.3.31現在）わかやまポンチ：34店舗 紀州梅バーガー：4店舗  
わかやま産品応援店：145店舗 わかやまジビエ：68店舗

【わかやまジビエ】

- メッサオークワ高松店、ガーデンパーク店で販売（2022.1.29～1.30、2.12～2.13）
- 伊勢丹新宿店和歌山フェアにおいて小島商店でわかやまジビエを販売（2022.11.9～11.15）

県産品の魅力発信及びブランド力の向上を図るため、有名百貨店とタイアップした効果的なPRや販売促進活動を展開するとともに、ターゲットとするマーケットの拡大を図ります。

（主な取組）

- 県とJAグループで構成する「和歌山ブランド向上対策推進会議」を主体として、県産農産物のブランドイメージ定着に向けた効果的なPRを展開
  - ・関西高級百貨店（大丸梅田店、阪神梅田店、阪急うめだ店等）とタイアップした「和歌山フェア」の開催
  - ・関西圏での県産農産物の高品質・高級イメージを押し出したPRイベントの開催



## 5. 「おいしく食べて和歌山モール」の活用

和歌山県 食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」を核に、より多くの消費者やバイヤーと県内事業者を結ぶ機会を創出します。

### ○「おいしく食べて和歌山モール」(消費者向け)

生産現場の魅力情報を発信するとともに、県内事業者のあらゆる商品がすぐに購入できるポータルサイトを開設し、県内事業者のeコマースによる販促を支援

県内事業者の  
ECサイト



集約



誘客

デジタルマーケティングによる誘客

・季節に合わせた商品特集や  
様々な食にまつわるコンテンツの充実  
Webマガジンの掲載



・Google検索広告や  
SNS(Instagram)広告の掲載



・SEO対策、SNSとの連携など



(和歌山モールQRコード)  
<https://oishii-wakayama.com>

流通関係者 向け  
(B to B)



一般消費者 向け  
(B to C)

### ○「おいしく食べて和歌山モール-FOR BUSINESS-」(バイヤー向け)

県産品・中間加工品の事業者とバイヤーを「結ぶ」オンライン商談システムを構築

国内外  
バイヤー

食品商社  
食品卸  
百貨店  
スーパーマーケット  
コンビニエンスストア  
通信販売業  
外食産業  
中食産業  
ホテル旅館業  
食品加工業

登録

**和歌山モール  
-FOR BUSINESS-**

検索が便利に！  
様々なカテゴリの商品を同時に検索することができます。商談に役立つ詳細な商品情報を掲載！

お気に入り登録で、後からでも  
すぐに情報にアクセス！  
気になった商品を「お気に入り登録」することができます。お気に入り登録した商品はいつでもマイページから確認できます。また、商品情報が更新された場合はお知らせが通知されます。

オンライン商談ルームで即商談！  
事業者、バイヤー双方が「売りたい」「買いたい」等の情報を登録できます。気になるオンライン商談ルームがあった場合、商談希望を出すことができ、即座にチャット機能で商談が開始できます。

QRコード  
<https://oishii-wakayama.com/for-business/>

商品管理DB機能

登録商品が一覧管理  
でき詳細情報を登録で  
きるDBの機能を強化



海外向け商品ページ  
商品カテゴリーや賞味  
期限、提案先国など  
様々な条件で商品検索  
が可能

'22実績

○モール 閲覧数：336,539 (月間約28千PV、アラフォー世代がメイン層)

消費者向け：登録事業者数 142社、登録商品数 720商品

バイヤー向け：登録事業者数 185社、登録商品数 832商品、登録バイヤー数 358名

## 6. 県産品ブランディングセールス

県産食材の品質の高さや機能性をテーマに高級百貨店や老舗果物専門店、外食店等で利用促進を図ることで、知名度とブランド力の向上を目指します。

(主な取組)

### ○「おいしく食べて美しくなる」をテーマとした県産食材の魅力発信

- ・食材の持つ機能性に着目し、女性層を主なターゲットに美容という切り口で魅力を発信
- ・首都圏外食店とのタイアップによる「和歌山の食材で美しくなるフェア」の開催



サラダ専門店とのコラボイベント

### ○県とJAグループで構成する「和歌山ブランド向上対策推進会議」を主体とした県産農産物のブランドイメージ定着に向けた効果的なPR 【再掲】

- ・首都圏高級百貨店(三越日本橋店、三越銀座店、伊勢丹新宿店等)や関西高級百貨店(大丸梅田店、阪神梅田店、阪急うめだ店等)とタイアップした「和歌山フェア」の開催
- ・首都圏等での県産農産物の高品質・高級イメージを押し出したPRイベントの開催



百貨店フェアでの販売、メニューイン

### ○有名シェフイベントの実施

県内外のトップシェフによる産地視察等の実施

### ○料理専門誌 (Webメディア等) とタイアップ記事を配信

外食業界において知名度が高く影響力のあるレストランの有名シェフを招へいし、魅力ある県産食材の提案を行うとともに、産地訪問の様子を料理専門誌に掲載することで料理業界での知名度とブランド力を向上



トップシェフによる産地視察

### '22実績

- 「HIGH FIVE SALAD」で県産いちじく、ししわかまる、新しょうがを使用したパワーサラダ、県産いちじくを使用したスムージーを提供 (9.1~9.30)、AYAをゲストにフェアお披露目会を開催 (8.27)
- POLA主催「美肌県グランプリ」のプレス向け発表会で県産食材をPR (2022.11.10)
- 光文社主催「美魔女コンテスト」で県産食材等をPR (2022.12.1)
- 「健康博覧会」への県ブース出展及び県産食材機能性セミナーを開催 (2023.2.8~10)
- トップシェフによる産地視察 (2022.4.4~4.6)
- 料理通信社「The Cuisine Press」【仏伊トップシェフが訪ねる和歌山の美味を育てる人たち】 (2022.5~)

## 〇ORAとの連携による大阪・関西万博開催を見据えた外食への食材提案アプローチ

- ・大阪外食産業協会（ORA）等への県産食材の提案
- ・有名ホテル、レストラン等で和歌山フェアの開催
- ・外食関係者、有名シェフの招へいによる食材の魅力発信
- ・「資生堂パーラー」等の高級外食店への食材提案

【再掲】



資生堂パーラー銀座本店



キャピトルホテル東急「星ヶ岡」



## 〇老舗果物専門店とコラボした県産果実のPR

- ・県産果実の販売や県産果実を使用した商品の開発
- ・新宿高野「フルーティーライフ教室」での県産果実の魅力発信



新宿高野本店



## 〇県産食材のもつ機能性の発信

- ・食材の機能性に関するセミナーの開催や料理・栄養関係の専門誌への掲載
- ・女子栄養大学等とのタイアップ事業の実施
- ・食材機能性ガイドやポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」にて、県産食材が持つ様々な機能性をPR



機能性ガイド

## 〇県産食材のテロワール（生産地の気候、風土、ストーリー）による魅力発信

- ・品目別テロワール冊子の配布
- ・「わかやま食材テロワール」メールマガジンの発行
- ・テロワール動画による県産食材の魅力発信
- ・料理レシピサイトでの特産品や郷土料理情報の発信



NEWテロワール冊子（リニューアル）

## 〇県オリジナル品種等の魅力発信

- ・県が育成した農産物の新品種や今後首都圏を中心に販売シェアを獲得したい品目について、重点的にプロモーションを展開



紀州てまり



まりひめ



紀州うすい



びんちょうまる



鮎

## '22 実績

- 阪神梅田本店、阪急うめだ本店（もも：2022. 6. 29～7. 12）、三越日本橋本店、三越銀座店、伊勢丹新宿店（かき・みかん：2022. 10. 19～11. 15）におけるフェアの開催
- グランドニッコー東京台場での和歌山食材フェア（2022. 9. 1～11. 30）
- 新宿高野とコラボしたPRイベントの開催（紀の川柿、甘熟富有柿、まりひめ）
- 資生堂パーラー、カフェコムサで県産果実を使用したスイーツの販売
- 銀座料理飲食業組合連合会での県産食材フェアを実施（2023. 3. 4～3. 10）

## 7.有名百貨店、通販市場での販売促進

県産品の魅力発信及びブランド力の向上を図るため、有名百貨店とタイアップした効果的なPRや販売促進活動を展開するとともに、近年拡大傾向にある「EC」、「カタログ」等の通販市場における販路開拓を行い、県産品の認知度、売り上げアップを目指します。

### (主な取組)

○県とJAグループで構成する「和歌山ブランド向上対策推進会議」を主体として、  
県産農産物のブランドイメージ定着に向けた効果的なPRを展開 【再掲】

- ・首都圏高級百貨店(三越日本橋店、三越銀座店、伊勢丹新宿店等)や関西高級百貨店(大丸梅田店、阪神梅田店、阪急うめだ店等)とタイアップした「和歌山フェア」の開催
- ・首都圏等での県産農産物の高品質・高級イメージを押し出したPRイベントの開催



柿でハロウィンイメージのPR  
(三越日本橋店)



みかん・柿の販売コーナー  
(三越銀座店)



紀州てまりPR販売  
(伊勢丹新宿店)



JALふるさと応援隊 店頭販促  
(伊勢丹新宿店、阪神梅田本店)



### '22実績

No	会期 (百貨店和歌山フェア)	県産農産物	会場
1	2022. 6. 8～2022. 6. 14	梅、新生姜	三越銀座店
2	2022. 6. 11～2022. 6. 12	小玉すいか、梅、ミニトマト	伊勢丹新宿本店
3	2022. 6. 29～2022. 7. 4	もも	阪神梅田本店
4	2022. 7. 6～2022. 7. 12	もも	阪急うめだ本店
5	2022. 10. 19～2022. 10. 25	柿 (たねなし柿、紀の川柿)等	三越日本橋本店
6	2022. 11. 9～11. 15	みかん、柿 (たねなし柿、富有柿)等	三越銀座店
7	2022. 11. 9～11. 15	みかん、ミニトマト、柿 (紀州てまり、紀の川柿、富有柿) なんとん密姫、紀州和華牛、ジビエ、水産物 等	伊勢丹新宿本店

### ○有名百貨店での食品催事等の開催

- ・首都圏等の有名百貨店における食品催事の開催  
京王百貨店新宿店「三重・和歌山・愛知の物産展」  
【開催日】 5月11日～16日
- ・近隣県と連携した物産展の開催
- ・有名百貨店への県産品の提案やオンライン物産展の開催



京王百貨店  
(2022.5.12～17)



山形屋  
(2023.2.16～21)

### '22実績

No	会期	フェア名	会場	出店者数
1	2022. 5. 12～2022. 5. 17	第2回 三重・和歌山・愛知の物産展	京王百貨店新宿店	1 4
2	2023. 2. 16～2023. 2. 21	第11回 三重・和歌山・奈良の物産展	山形屋	1 2
3	2022. 3. 23～2023. 2. 15	タカシヤマオンライン「和歌山・三重・愛知の物産展」	オンライン	1 9

## ○通販カタログへの県産品掲載

- ・市場が拡大傾向にある大手通販カタログやECサイトによる販売の促進

郵便局カタログ「食で旅するおいしい和歌山（秋冬号）」（近畿）



郵便局のネットショップ

食で旅するおいしい和歌山 秋冬号



フェリシモカタログ「2023フェリシモパートナーズ産地直送マルシェ」



タカシマヤオンライン「愛知・三重・和歌山展」



愛知・三重・和歌山展



送料込み  
黒沢牧場  
牛柄ロールケーキ&和歌山3姉妹アイスの詰め合せ



送料込み  
イブファーム  
【オンライン限定】イブポタ「イブ美豚」ウィンナー食べ比べセット



送料込み  
アーマリン近大  
【オンライン限定】レンジで簡単！近大マダイ惣菜詰合せ

### '22実績

- 郵便局カタログ「食で旅するおいしい和歌山（秋冬号）」（近畿）  
紙面・WEB掲載：17事業者/25商品 WEBのみ掲載：47事業者/119商品  
発行部数：14万部  
販売チャネル：近畿2府4県の郵便局、郵便局のネットショップ
- フェリシモカタログ（2023フェリシモパートナーズ産地直送マルシェ）  
「まるごと和歌山っ！」 41事業者/63商品  
発行部数：30万部  
販売チャネル：フェリシモ会員へのDM、フェリシモWEBサイト
- タカシマヤオンライン「愛知・三重・和歌山展」  
2022.3.23～2023.2.15 19事業者/68商品

## 8.わかやま紀州館を活用した販路開拓

東京都有楽町に設置する県アンテナショップ「わかやま紀州館」を活用した販路の開拓支援と首都圏で県産品の魅力をPRします。

(主な取組)

- 「わかやま紀州館」での県産品の販売・PR
  - ・テストマーケティング販売（3カ月間）の実施
  - ・県内事業者への店頭販売スペースの提供
  - ・店頭での特集コーナー設置による旬の商品紹介
  - ・マスコミへの取材協力を通じた県産品の機能性をPR
  - ・ふるさと広報大使等を活用した誘客イベントの開催



わかやま紀州館誘客イベントの様子

- バイヤー向け商談機能の強化
  - ・「わかやま紀州館」を首都圏バイヤー向けの商談拠点とし、バイヤーが商品を手にとることができ、常駐職員を通して、県内事業者とのマッチングを実施
  - ・バイヤー経験等のある県産品販路拡大コーディネーターを新たに活用し商談力を強化



InstagramのQRコード↓



- SNSを活用した情報発信
  - ・より多くのお客様に商品の最新情報を知ってもらうため、紀州館で販売する商品をInstagram等で紹介

- 店舗外での県産品のPRや販売
  - ・首都圏等での発信力の高いイベントへの出店

- 「わかやま紀州館mini」を活用した県産品の販売・PR
  - ・県外で県産品を販売するスペースを有する店舗（「わかやま紀州館mini」）の全国展開を加速



首都圏でのイベント出展の様子

### (店舗情報)

#### 【わかやま紀州館】

- 場所 東京都千代田区有楽町2-10-1
- 営業時間 10:00~19:00 (日曜・祝日は10:00~18:00)
- 店舗連絡先 03-6269-9434 (物産)

#### 【わかやま紀州館mini】

- 全国31店舗 (2023.3.31時点)
- (東北1、関東13、北陸1、中部3、近畿7、中国4、九州2)



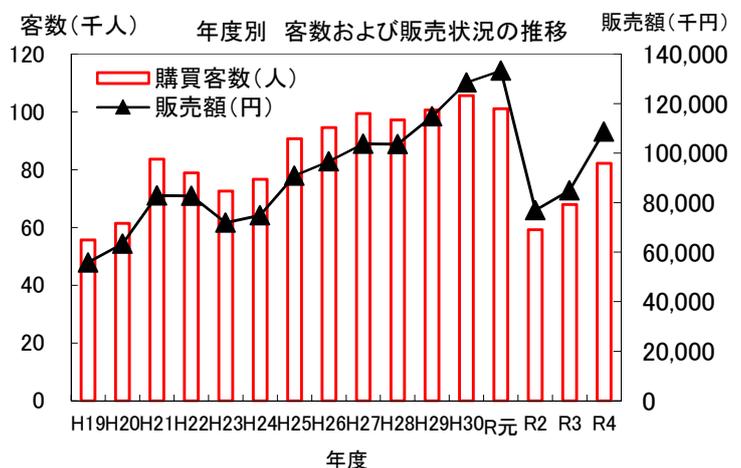
紀州館mini 1号店 (クレイン大阪) の様子



紀州館mini新規登録店 (梅酒堂) の様子

### '22実績

- わかやま紀州館 (2023.3.31現在)
  - 【購買者数】82,174名 (対前年度 121.1%)
  - 【売上】10,846万円 (対前年度 127.7%)
  - 【出品事業者数】215社
  - 【出品アイテム数】1,044点
- 出前紀州館
  - 【出店回数】13回
  - 【売上】約204万円
  - ※主な出店先 立川高島屋、女子栄養大学など



## 9. プレミア和歌山のストーリー展開

首都圏でのPRイベントの開催、大手食品卸主催の展示商談会への出展、物産店舗・百貨店・高質スーパー等への出店及び多様な流通ツールの活用により、プレミアム和歌山の認知拡大及び販売促進を展開します。



※プレミアム和歌山とは  
 ①和歌山県内で生産・製造されたもの  
 ②安心・安全を重視したもの  
 ③和歌山らしさ・和歌山ならではのもの  
 これらの観点から、優良な県産品を認定・推奨する制度

### (主な取組)

#### ○物産店舗等出店

- ・首都圏等の鉄道駅構内や百貨店、高質スーパーなどで一般消費者向けにプレミアム和歌山の展示・販売を行うブースを出店



令和4年度審査員特別賞  
《ごんちゃん》

#### ○大手卸主催展示・商談会に和歌山県ブースを出展<9ページ参照>

- ・国分西日本展示商談会      ・三井食品フードショー
- ・伊藤忠食品展示会          ・三井食品関西メニュー提案会



物産店舗出店  
(阪急大阪梅田駅構内)

#### ○プレミアム和歌山PRイベントでの販売促進

- ・首都圏において、バイヤー・メディア関係者に向けたプレミアム和歌山PRイベントを開催



PRイベント (ディアモール大阪)

#### ○オンラインお土産サービス (みやげっとdeプレミアム和歌山)

- ・ホテル等に設置する専用POPのQRコードを読み取り、メールやLINE等でプレミアム和歌山認定商品を簡単に贈れるサービスを活用し、更なる購入機会を創出



みやげっとdeプレミアム和歌山

#### ○第13回通販食品展示商談会への出展<9ページ参照>

#### ○フードスタイル九州2023への出展<9ページ参照>

### '22実績

#### ○ディアモール大阪「プレミアム和歌山フェア」開催

【開催期間】2022.6.29~6.30      【開催場所】ディアモール大阪

#### ○観光PR イベント「蘇りの地、わかやま」癒し旅 プレミア和歌山物産展 開催

【開催期間】2022.9.17~9.18      【開催場所】JR大阪駅アトリウム広場

#### ○わかやま紀州館阪急梅田店出店

【開催期間】2022.10.21~11.1      【開催場所】阪急大阪梅田駅2階

#### ○みやげっとdeプレミアム和歌山

【事業者/商品数】63事業者/193商品 【設置場所】21箇所 (アバローム紀の国等)

#### ○テレビ東京系列通販テレビ番組及び通販サイト (虎ノ門市場)

#### ○加藤産業新製品発表会 出展

#### ○三井食品関西メニュー提案会

<9ページ参照>

#### ○国分西日本展示商談会出展

<9ページ参照>

#### ○三井食品フードショー2022出展

<9ページ参照>

#### ○第12回通販食品展示商談会 出展

<9ページ参照>

#### ○フードスタイル九州2022 出展

<9ページ参照>

## 10.大手食品企業とのタイアップによる商品開発

好感度が高く発信力のある大手食品企業とのタイアップにより商品づくりを行うことで、広く県産食材のPRを行い、さらなるイメージアップとわかやま食材のファンづくりを推進します。

(主な取組)

- 大手食品・飲料メーカー、コンビニエンスストアに県産食材の魅力をPR
- 「和歌山県共同開発商品PRマーク」の利用促進
- 産地とコンビニエンスストアの連携による商品開発



SNSを活用した情報発信



メーカーと協働した地域イベントでのPR



メーカー、地元生産者、高校生との共同記者会見

食品メーカーやコンビニエンスストアで発売された県産食材を使った協力商品



イオンリテール(株)



カゴメ(株)

『和歌山県共同開発商品PRマーク』

全国での和歌山県産品の認知向上を図ることを目的に、県と民間企業とが県産品を活用して共同開発した商品に付すロゴマークです。



(株)セブン-イレブン・ジャパン



アサヒ飲料(株)



メルシャン(株)



ヤマダイ(株)

### '22 実績

- イオンリテール(株)が県産「温州みかん果汁」を使用した、『和歌山みかんサワー』を発売 (2022. 10. 24～ 全国のイオン、イオンスタイル、イオングループ店舗)
- カゴメ(株)が「有田みかん果汁」を使用した、『野菜生活100 有田みかんミックス』を発売 (2022. 11. 22～ 全国の量販店、コンビニ 他)
- (株)セブン-イレブン・ジャパンが「有田みかん」を使用した、『有田みかんサンド』を発売 (2022. 12. 5～ 近畿2府4県のセブン-イレブン店舗)
- アサヒ飲料(株)が県産「南高梅」の果汁・ピューレ等を使用した『三ツ矢日本くだものがたり和歌山県産南高梅』を発売 (2023. 1. 31～全国の量販店 他)
- メルシャン(株)が県産「黄色い完熟南高梅」を使用した、『まっこい梅酒』を発売 (2023. 1月下旬～ 全国の量販店 他)
- ヤマダイ(株)が県産「醤油」を使用した『和歌山中華そば』を発売 (2023. 2. 6～スーパーマーケット、ドラッグストア 他)

## 11. 県産酒類の魅力発信

和歌山の「日本酒」・「本格梅酒」等のそれぞれの魅力や特徴をわかりやすく国内外の消費者にPRすることによるファンづくりと消費拡大を目指します。

(主な取組)

○日本酒や本格梅酒の魅力を各種大型イベントでPR

- ・「日本酒マッピング図」及び「梅酒マッピング図」を活用のもと、飲食業関係団体等との連携によるブース出展やフェア開催などを通じた魅力発信を展開

日本酒マッピング図



梅酒マッピング図



【本格梅酒】とは

日本洋酒酒造組合が平成27年1月23日に制定した自主基準で、うめ・糖類・酒類のみを原料とし、酸味料等を使用していない梅酒

【GI和歌山梅酒】とは

本格梅酒のうち、一定の生産基準を満たし品質が保証されているとして、「GI和歌山梅酒管理委員会」の審査により認められた梅酒



- ・イベントや百貨店フェア、商談会などの機会を通じたPRの実施



「ORA設立40周年記念イベント」  
和歌山県ブース出展



「ガストロノミー・ツーリズム世界フォーラム」  
和歌山県ブース出展



ふるさと広報大使「中島由貴」氏  
「GI和歌山梅酒」飲み比べ動画制作

'22 実績

○「日本酒マッピング図」・「梅酒マッピング図」のイベント等での配付

- ・「GI和歌山梅酒コラボお披露目会」におけるPR (2022. 9. 7)
- ・「和歌山の地酒を楽しむ会」におけるPR (2022. 10. 3)

○首都圏等におけるPR展開

- ・銀座料理飲食業組合連合会タイアップキャンペーンの展開 (2022. 6. 6～30)
- ・「プレミアム和歌山 東京レセプション」におけるPR (2022. 10. 7)
- ・「ORA設立40周年記念イベント」におけるPR (2022. 11. 14)
- ・「美魔女コンテスト」(光文社)におけるPR (2022. 12. 1)
- ・「ガストロノミー・ツーリズム世界フォーラム」におけるPR (2022. 12. 13)
- ・「わかやま産品商談会in大阪」におけるPR (2023. 1. 20)
- ・「福岡空港JALマルシェ」におけるPR (2023. 2. 4～5)

○SNS等を活用したPR展開

- ・ふるさと広報大使「中島由貴」氏によるGI和歌山梅酒動画制作・発信 (2022. 6～)

## 12. 「おいしい！健康わかやま」の推進

より多くの消費者に和歌山の食材を知ってもらうため、「おいしい！健康わかやま」をキャッチフレーズに魅力いっぱいの県産品情報を発信します。

(主な取組)

○「おいしく食べて美しくなる」をテーマとした県産食材の魅力発信

食材の持つ機能性に着目し、女性層を主なターゲットに美容という切り口で魅力を発信  
 ・首都圏外食店とのタイアップによる「和歌山の食材で美しくなるフェア」の開催

【再掲】



サラダ専門店とのコラボイベント

'22実績

- 「HIGH FIVE SALAD」で県産いちじく、ししわかまる、新しょうがを使用したパワーサラダ、スムージーを提供(9.1~9.30)、AYAをゲストにフェアお披露目を開催(8.27)
- POLA主催「美肌県グランプリ」のプレス向け発表会で県産食材をPR(2022.11.10)
- 光文社主催「美魔女コンテスト」で県産食材等をPR(2022.12.1)
- 「健康博覧会」への県ブース出展及び県産食材機能性セミナーを開催(2023.2.8~10)

○ソーシャルメディア等を活用した「おいしい！健康わかやま」の魅力発信

- ・Instagramで「おいしい！健康わかやま」フォトコンテストを開催し、新たな県産品のファンを獲得
- ・拡散効果が期待できる「高い話題性」や「高いエンタメ性」のある県産品情報や、クックパッドと連動したレシピ投稿など、幅広い層にアプローチできる情報をソーシャルメディアで発信
- ・和歌山県ゆかりの方々との協力による、YouTubeやInstagram等を活用した県産品の魅力発信
- ・県産品PR用販促資材の貸与



中島由貴氏×柿

'22実績

- SNSで「おいしい！健康わかやま」を情報発信(2023.3.31現在)  
 フォロワー数: Facebook 1,333人、Instagram 5,367人、Twitter 3,478人、YouTube 1,230人(総再生回数 263,073回)
- Instagramで「おいしい！健康わかやま」フォトコンテストを開催
  - ①「#和歌山のおいしい春」投稿数148枚
  - ②「#私の夏のイチオシメニュー」投稿数209件
  - ③「#おいしい和歌山パーティー」投稿数190件

○クックパッドにおける県産食材や産地の魅力発信

わかやま新しょうがのシャキシャキサラダ



和歌山の梅シロップで簡単！うめラッシー



和歌山の梅干を煮物に！いわしの梅煮



レシピの紹介

和歌山フルーツ日和

和歌山で作られる梅の種類と梅レシピ



クックパッドブログ

うれしい出来事



お酢×梅でさっぱり！わかやま梅サワーが「梅サワー」の人気検索でトップ10入りしました。

人気検索  
トップ10入り

'22実績

- 県産食材を使用したレシピの投稿(36件)、ブログでの産地情報等発信(6件)
- 人気検索でトップ10入り(6件)(2023.3.31現在)



# 1. デジタル社会に対応した生産者・事業者支援

デジタル社会に対応した販売力の向上と魅力ある商品づくりを目指し、eコマースの導入や販売スキル向上に向けたセミナーを開催するとともに、Webページ作成に係る支援、します。

(国内の主な取組)

## ○デジタルマーケティングに係る課題解決型ワークショップ（募集：5月～） = NEW =

農林漁業者等を対象に、eコマースを実施する上で抱えている課題別のワークショップ、及び専門家による課題解決に向けた伴走型支援の実施

## ○eコマース導入に向けた支援（募集：5月～）

インターネット販売を始めたい、インターネット販売での売上を伸ばしたい事業者に対して、ECサイトの作成や運営に係る専門家派遣及び産直EC等と連携したeコマースに関するセミナー開催



## ○Web用販売促進ツール等作成への補助（募集：4月～）

農林漁業者等を対象に、Webページ作成及びリニューアル及び、これに付随する ①商品・事業PR動画の作成、②商品写真撮影、③HPの外国語翻訳業務、④SNSツールの活用 等の取組を支援  
【上限額】：50万円 【補助率】：1/2



作成した生産者のページ

## ○食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」 【再掲】

- ・産地の魅力情報を発信するとともに、県内事業者のあらゆる商品がすぐに購入できるポータルサイトにて消費者へ県産品を紹介、県内事業者のeコマースによる販促を支援
- ・県産品等を製造販売する事業者とバイヤーを結ぶオンライン商談システム「おいしく食べて和歌山モール-FOR BUSINESS-」によるBtoB取引を支援



「おいしく食べて和歌山モール(消費者向け)」ページ



「おいしく食べて和歌山モール-FOR BUSINESS- (バイヤー向け)」ページ

### '22実績

- ポケットマルシェ販売実績：1億8千万円、登録生産者数：262件（2023.3末）
- eコマース導入に向けた支援：セミナー開催（年4回延べ259名参加）、専門家派遣10社
- Web用販売促進ツール等作成への補助：21事業者（実績8,971千円）
- モール 閲覧数：336,539（月間約28千PV、アラフィフ世代の女性がメイン層）
  - 消費者向け：登録事業者数 142社、登録商品数 720商品
  - バイヤー向け：登録事業者数 185社、登録商品数 832商品、登録バイヤー数 358名

## 2.商品力・販売力の向上

生産者・事業者の商品力及び販売力向上を目指し、スキルアップに向けたセミナーを開催するとともに、商品開発、eコマース、HACCP高度化等に向けた専門家を派遣します。

(国内の主な取組)

### ○売れる商品の開発・改良等に向けたアドバイザー派遣

- ・アドバイザー（新商品開発、流通・販売促進、デザイン等の専門家）の派遣
- ・わかやま産業振興財団が実施する専門家派遣事業の活用
- ・中小企業庁が設置する和歌山県よろず支援拠点「無料経営相談所」の活用
- ・工業技術センター「フードプロセッシングラボ」を活用した新商品づくりを支援



アドバイザー派遣の様子（オンライン）



フードプロセッシングラボ

### ○販売スキル向上セミナーの開催（募集：7月頃、実施：11月頃）

長年流通や商談に携わったベテランバイヤーによる「販路拡大を図るテクニック」向上や「オンライン商談」に向けたセミナーを開催



カリスマバイヤーによるセミナー



「わかやま産品商談会 in 和歌山」連動型 実践形式セミナー



### ○HACCP高度化推進講習の開催（募集：5月下旬～7月上旬、実施：7月～2月）

- ・国内外への販路開拓を考えている意欲的な事業者を対象に、義務化されている「HACCPに基づく衛生管理」について、より高度化・効率化するための講習を開催
- ・HACCPコーディネーターによる現地指導



オンラインセミナー



コーディネーターによる現地指導



#### '22実績

- HACCP高度化推進講習（オンライン）：27事業者参加（全6回延べ14日間）  
現地個別指導（各事業者2回）
- 販路拡大に向けた個別指導：アドバイザー派遣 7事業者
- 商談カスキルアップセミナー（講義形式）：29事業者参加
- 商談カスキルアップセミナー（実践形式）：18事業者参加

### 3.食品関係産業の振興

経済団体、金融機関、行政機関、食品産業団体等が協力体制を構築し、オール和歌山で食品関係産業の振興を推進するとともに、食品流通の核として重要な役割を持つ卸売市場の整備・強化を支援します。

(主な取組)

#### ○経済団体、金融機関、行政機関等と連携した取組

- ・和歌山県中小企業団体中央会
- ・和歌山県商工会議所連合会
- ・和歌山県商工会連合会（食品関連情報の共有）
- ・（公財）わかやま産業振興財団  
（産品商談会in和歌山 及び in大阪）
- ・（株）日本政策金融公庫（産品商談会in大阪）
- ・（株）紀陽銀行（地方銀行フードセレクション）
- ・損保3社（※）との包括連携協定（企業内物産展）  
※三井住友海上火災保険(株)、東京海上日動火災保険(株)、損害保険ジャパン日本興亜(株)
- ・日本郵政（株）との包括連携協定
- ・よい仕事おこしフェア実行委員会との包括連携協定
- ・（独）日本貿易振興機構（県産物の輸出）
- ・関西広域連合（各種セミナー、Web商談会）等

#### ○和歌山県食品産業協議会と連携した取組

- ・「和歌山の食品」に関する情報発信
- ・食品関連の研修、セミナーの開催 等

#### ○食品流通懇談会の開催

- ・県内の卸売業者、仲卸、買参人、生産者、消費者や専門家等がそれぞれの見地から、本県の特性に応じた食品流通について議論する懇談会を開催（7月予定）

#### ○和歌山市中央卸売市場の再編整備

- ・実需者ニーズに合わせたコールドチェーン対応の閉鎖型市場施設の整備
- ・実施年度：平成30年度～令和7年度
- ・実施概要：青果棟、水産棟、総合食品センター等の整備



羽田イノベーションシティイベントの様子



ガストロミーテュリズム世界フォーラムへの出展



新水産棟でのせりの様子

#### '22 実績

#### ○経済団体、金融機関、行政機関等と連携した取組

- ・（公財）わかやま産業振興財団：産品商談会in和歌山<16ページ参照>
- ・関西広域連合：Web型マッチング商談会（2022.11.21）  
食品輸出セミナー（2023.1.13）
- ・日本郵便：郵便局カタログ「食で旅するおいしい和歌山 秋冬号」（近畿）
- ・よい仕事おこしフェア：羽田イノベーションシティイベント（2022.4.22～4.24）  
コロナに負けるな！大商談会（2022.12.6～12.7）

#### ○和歌山食品産業協議会と連携した取組

- ・会員への食品関連情報の案内（年間32件）
- ・ガストロミーテュリズム世界フォーラムへの出展（2022.12.13～12.14）

#### ○和歌山市中央卸売市場の一部完成

- ・駐車施設（9,000㎡）、構内舗装（4,598㎡）等

# 令和4年度 主要事業実績 及び 令和5年度 計画一覧

			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度計画
営業訪問	バイヤー・県内事業者等との面談	訪問件数	780件	1,024件	適宜実施
商談会	FOODEX JAPAN	参加事業者数	16社	18社	募集時期：6月頃 開催期間：3/5～8 募集者数：16事業者(予定)
		商談件数	352件	調査中	
	スーパーマーケット・トレードショー	参加事業者数	18社	25社	募集時期：6月頃 開催期間：2/14～16 募集者数：20事業者(予定)
		商談件数	184件	調査中	
	健康博覧会	参加事業者数		7社	※フードスタアソリューションズフェアに変更 募集時期：募集終了 開催期間：9/6～7 募集者数：10事業者(予定)
		商談件数		154件	
	わかやま産品商談会in大阪	参加事業者数		74社	募集時期：7月頃 開催期間：1/19 募集者数：60事業者(予定)
		商談件数		調査中	
	県産品マッチング商談会	参加事業者数	54社	37社	募集時期：6月頃 開催期間：10月頃(2回目) 募集者数：30事業者(予定) ※1回目：5/24～25
		商談件数	147件	136件	
フードトレード・アシストパッケージ	参加事業者数	10社	9社		
	商談件数	30件	69件		
プレミアム 和歌山 商談会	大手食品卸主催商談会	参加事業者数	10社	18社	・三井食品フードショー ・伊藤忠食品展示会 ・国分西日本展示商談会 ・三井食品関西メニュー提案会
		商談件数	125件	252件	
	フードスタイル九州	参加事業者数		10社	募集時期：6月頃 開催期間：11/14～15 募集者数：10事業者(予定)
		商談件数		270件	
	通販食品展示商談会	参加事業者数	10社	10社	募集時期：5月頃 開催期間：10/24～25 募集者数：10事業者(予定)
		商談件数	126件	164件	
商談	リアル商談	商談件数	116件	294件	適宜実施
	WEB商談	商談件数	190件	231件	
通信販売	郵便局カタログなど	参加事業者数	113社	133社	適宜実施
		掲載商品数	280商品	304商品	
商品力 販売力 向上支援	アドバイザー派遣	派遣件数	16回	17回	適宜実施
	各種セミナー開催	開催回数	29回	20回	適宜実施
		参加人数	265人	501人	
	Web用販促ツール等支援	補助事業者数	41社	21社	募集中【先着順】 (4月～8月)
	おいしく食べて和歌山モール (BtoC)	登録事業者数	100社	142社	随時募集
		登録商品数	570商品	720商品	
	おいしく食べて和歌山モール (BtoB)	登録事業者数	129社	185社	随時募集
登録商品数		630商品	832商品		
有名シェフ、バイヤー等招聘	登録バイヤー数	137人	358人		
有名シェフ、バイヤー等招聘	招聘件数	15件	24件	適宜実施	
物販	わかやま紀州館	購買者数	67,884人	82,174人	テスト販売 随時募集
		出品事業者数	202社	215社	
		売上	88,983千円	108,460千円	
情報発信	Instagram、Facebookなど	フォロワー数	11,231人	11,394人	適宜実施
	SNS、クックパッド、著名人	発信回数	255件	230件	適宜実施
輸出	青果	輸出額	339,256千円	調査中	和歌山県農水産物・加工食品輸出 促進事業で支援
	加工品	輸出額	2,367,374千円	調査中	
	海外向け商品提案	事業者数	142社	146社	随時募集
		商品数	819件	818件	

※各数値は令和5年3月末時点で関係事業者の協力に基づき集計したものであり、今後ホームページで更新してまいります。

食品流通課ホームページでは各種事業内容の紹介を行っています。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/index.html>



ホームページ

様々な情報をメールで配信しています。（登録無料）

1. 県内事業者向け

- 「募集・ご案内メールマガジン」（毎週1回配信）  
首都圏や海外展示会、販売催事及び国内外バイヤーとの商談会  
に係る事業者募集、各種セミナー開催等のお知らせ



県内事業者向け  
メールマガジンの登録

2. バイヤー向け

- 「旬のTasty healthy wakayama」（毎月1回配信）  
県内事業者の商品情報や食品流通課の取組情報など  
旬の情報を配信



バイヤー向け  
メールマガジンの登録

### 【本庁問合せ先】

## 和歌山県農林水産部食品流通課

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1  
TEL：073-441-2820  
FAX：073-432-4161  
e-mail: e0717001@pref.wakayama.lg.jp

### 【出先機関問合せ先】

海草振興局農業水産振興課	〒640-8585 和歌山市小松原通1-1	TEL：073-441-3382
那賀振興局農業水産振興課	〒649-6223 岩出市高塚209	TEL：0736-61-0025
伊都振興局農業水産振興課	〒648-8541 橋本市市脇4-5-8	TEL：0736-33-4930
有田振興局農業水産振興課	〒643-0004 湯浅町湯浅2355-1	TEL：0737-64-1273
日高振興局農業水産振興課	〒644-0011 御坊市湯川町財部651	TEL：0738-24-2926
西牟婁振興局農業水産振興課	〒646-8580 田辺市朝日ヶ丘23-1	TEL：0739-22-1443
東牟婁振興局農業水産振興課	〒647-8551 新宮市緑ヶ丘2-4-8	TEL：0735-29-2011

※このアクションプログラムに記載している内容の一部には、様々な方面との協議を要し、適宜変更を行う場合がありますので、あらかじめ御了承ください。